

部局名	子ども部	所属名	子育て支援課	所属長名	野口 啓子	電 話	483-1151 内線2270
-----	------	-----	--------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3777		事務事業名称	保育園民間移管事業					短縮コード	経常		臨時	3777
予算区分	会計	01	一般会計	款	03	民生費	項	02	児童福祉費	目	01	児童福祉総務費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		第3次総合計画第4期実施計画							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
平成17年5月に八千代市の子育て支援施策を推進するため「八千代市子ども行政あり方検討委員会」を設置し、八千代市の保育園のあり方について検討され、同年10月に、「今後の公立保育園の役割として保育園内における保育だけでなく、地域の子育て支援施設としての中核機能を持たせ、地域における妊娠・出産・子育てを一貫して支援できる施設として整備していく必要がある」との提言が出された。これらの支援を行うためには、拠点となる公立保育園等に子育て支援を行う職員を配置する必要があることから、平成19年度から3ヵ年にわたり毎年1園ずつ、社会福祉法人へ公立保育園の運営を移管し、配置転換が可能となった職員を子育て支援に係る事業に充てることとした。 公立保育園の民間移管にあたり、園児及び保護者等の心理的負担を想定し臨床心理士による相談を実施。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして						
平成21年3月末現在、八千代市内の就学前児童約1万2千人のうち、保育園・幼稚園いずれにも通園していない在宅児童は約6千人に上る。これら、在宅での子育てを行っている親子は、子育てについての情報や相談相手を見つけられない状態であるため、家庭が虐待の場となるような通告件数も増えており、今後は拠点となる公立保育園等を常時保育士による子育て相談が受けられる施設として整備する必要があるとの「八千代市子ども行政あり方検討委員会」の提言を受け、19年5月には7圏域すべてに地域子育て支援センターが開設され、保育と母子保健が連携し地域子育て支援を推進していくための整備と仕組みづくりを行っている。また、安心して子育てできる地域づくりという観点から「地域情報交換会」を実施し関係機関や子育て支援の市民と協働を行っている。 引継期間中や移管後の保育も混乱なく進んだ。					大項目（節）	02	社会福祉						
					中 項 目	01	児童福祉						
					小項目（施策）	01	保育園の充実						
					細 項 目	02	多様な保育ニーズへの対応						
実施計画の計画事業	1201	公立保育園民営化事業											
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		平成19年4月 ～ 平成22年3月		計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	移管した保育園の園児及び保護者。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 臨床心理士が園内を巡回し、子どもの状況や保育を観察。 保護者や職員からの相談対応。							
	※平成22年度に計画していること： 平成19年度から実施してきた民間移管3園について完了したため当面の計画はなし。							
意図 （何を狙っているのか）	公立保育園の民間移管時に予想される園児及び保護者・職員の心理的負担の軽減。							
ねらい（上位施策の意図）	民間移管後も保育の充実が図られる							
区 分				単位	2 0 年度	2 1 年度		2 2 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	実施回数	回		12	12		
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	相談件数	件		12	12		
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	保育園民間移管事業の執行率	%	100	100	100		
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		3777		事務事業名称		保育園民間移管事業		所属名		子育て支援課	
				単位	2 0 年度	2 1 年度			2 2 年度		
					実績	計画	実績		計画		
事業費 (A)	財源内訳	国		千円	0	0	0	0			
		県		千円	0	0	0	0			
		地方債		千円	0	0	0	0			
		一般財源		千円	5, 536	156	156				
		その他		千円	0						
	主な事業費の内訳				乳児サポート事業謝金 156千円	乳児サポート事業謝金 156千円					
	人件費 (B)			千円	0	93	93	0			
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)				千円	5, 536	249	249	0			

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分	理 由					
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている	21年4月で計画された3園の移管が終了したため、上位の施策は達成されている。					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
目的 妥当 性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☒ 達成している	21年4月で計画された3園の移管が終了したため、目的は達成されている。					
			☐ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある						
有効性・ 効率性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
			☐ 現状のままでよい						
			☐ 見直す必要がある						
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 現状のままでよい						
			☐ 見直す必要がある						
			☐ 評価対象外事項						
			☐ 現状のままでよい						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 現状のままでよい						
			☐ 現状のままでよい						
			☐ 現状のままでよい						
			☐ 現状のままでよい						
			☐ 現状のままでよい						
			☐ 現状のままでよい						
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ 現状のままでよい						
			☐ 現状のままでよい						
			☐ 現状のままでよい						
			☐ 現状のままでよい						

コード	3777	事務事業名称	保育園民間移管事業				所属名	子育て支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			平成19年度から実施してきた民間移管3園について完了したため、当面の計画はなく、休止とする。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☒ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			事業休止により成果は不変，コストは削減。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☒	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
臨床心理士が定期的に訪問するという事で，保護者及び職員に安心感を与える様子が伺われた。また、保育士との相談に対応することができ、臨床心理士の存在が副次的な効果をもたらした。 平成19年4月移管の高津西保育園に関して，訴訟を提起されたが終審し，判決が確定している。									

所属長コメント	臨床心理士を派遣することにより，保護者や職員に心理的安定が見られ，移管園の保育が円滑に行なわれた。 平成19年度から実施してきた民間移管3園について完了したため，当面の計画はなく，休止とする。								
	評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			3 園の民間移管が終了したことから，所期目的を達成した。				
		☐ 手法プロセスの改革・改善							
		☐ 事業規模の拡大・縮小							
		☐ 統合・役割見直し							
☐ その他									
☒ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									